

第1回及び第2回協議まとめ

1. あるべき姿

◆学校組織のあるべき姿

「児童生徒の実態に即した学校経営ビジョンのもと、その目標を達成するために、個々の教職員が組織の一員としてそれぞれの役割と責任を認識し、チームとして機能する組織」



「教職員個々の取組がチームの取組につながっていくことで、コンプライアンスの向上や業務に向かう取り組み姿勢などを含めて、組織として機能する。」

◆管理職のあるべき姿（案）

「校長は自校のミッションと立ち位置を明確にした上で、目指すべき方向やあるべき姿をビジョンとして示す。そのビジョンを達成するためのプロセスや戦略を設計し、教職員が納得し理解できるよう、自らの言葉で筋道立てて伝える。さらには、教職員に対する進捗管理を確実にし、具体的な事象に対して褒めて認め、指導し、評価しながら個々の力を引き出す。そして、専門人材や外部人材、保護者等を積極的に巻き込みながら、チーム学校として一丸となった取組が進むようマネジメントする。」

2. 第1回（3/19）及び第2回（6/10）協議まとめ

項目	改善の方向性・具体的な方策
<b>(1) 学校組織の仕組み</b>	<p><b>学校経営ビジョンの共有や実現のための仕組みづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■管理職の意識改革 ■組織マネジメント力の向上をめざした研修の実施</li> <li>■実態を踏まえたビジョンづくり</li> <li>■学校経営ビジョンの明確化と共有化 ■ビジョンを教職員が納得し理解できる伝え方の工夫</li> <li>■学校経営計画を効果的に活用するための仕組み ■地域や保護者と協働した学校経営</li> </ul> <p><b>効果的・効率的な学校組織となるための仕組みづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■実態に即した能動的な組織づくり ■校務分掌の見直し</li> <li>■学校の組織風土や文化を踏まえた組織づくり ■教頭や主幹教諭の役割の明示</li> <li>■経営資源（人・もの・予算・時間・情報）の必要性と裁量権の拡大</li> <li>■学校経営計画、目標設定シート、授業改善プランを関連させた組織運営</li> <li>■事務職員の積極的な学校経営への参画</li> <li>■学校事務共同実施の充実</li> <li>■学校組織づくりに関わる好事例の普及</li> </ul> <p><b>組織的な不祥事防止対策を進めるための仕組みづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■互いを尊重する組織づくり ■コンプライアンスを重視した組織づくり ■不祥事対応の組織化</li> </ul>
<b>(2) 人材育成の仕組み</b>	<p><b>キーパーソンやミドルリーダー育成のための仕組みづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■OJTを通して若年教員を育成するためのスキルの向上</li> <li>■組織マネジメントに必要なスキルを育成するための取組</li> <li>■大学への研修派遣や教育行政機関への異動等を含めたキャリアアップを通じた人材育成</li> </ul> <p><b>若年者を対象とした人材育成のための仕組みづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■メンター制を導入した組織的な人材育成の体制強化</li> <li>■メンターや分掌の長の職務権限の明確化</li> <li>■若年メンターチームや同じ課題意識をもつチームの編成 ■チーム会等の時間確保</li> <li>■小規模校によるメンター制モデル例の普及</li> <li>■初任者指導教員同士が連携できる組織づくり</li> </ul> <p><b>学校のチェック体制や教職員のメンタルヘルス対策のための仕組みづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■教職員の時間的・精神的な余裕を生み出す仕組みづくり</li> <li>■教職員のモチベーション向上につながる環境づくり</li> <li>■教職員としての誇りをもつことができる体制づくり</li> </ul>
<b>(3) 業務改善の仕組み</b>	<p><b>業務の精選・削減に向けた仕組みづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■業務改善に対する教職員の意識改革</li> <li>■ジョブリストの明確化</li> <li>■積極的なスクラップ・アンド・ビルド ■会議のやり方や量等の見直し</li> </ul> <p><b>ICTを活用した業務改善の仕組みづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ICT環境の整備 ■校務効率化をめざしたICTの活用</li> <li>■ICTの積極的な活用に向けた教職員の意識改革</li> <li>■ICT支援員の配置</li> </ul> <p><b>専門スタッフや外部人材を有効活用するための仕組みづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■若年教員が保護者や地域の方と話し合える場づくり</li> <li>■外部・専門人材活用方法の工夫</li> <li>■支援を必要とする子どものための専門性を生かした支援体制（SC、SSW、児童相談所、福祉事務所、病院、特別支援学校等）の構築</li> </ul>